

# 環境負荷低減の取り組み



当社は、製造工程において多くの電力や化石燃料を使用し、ばい煙等を排出しています。そのため、省エネ対策に積極的に取り組むとともに、大気、水域への環境負荷の低減に努めています。

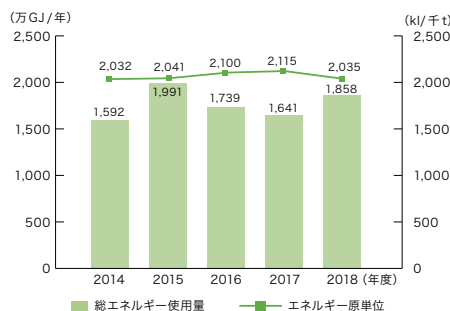
## 地球温暖化抑制・省エネルギー対策

製造工程において、電気炉高温排ガスをニッケル鉍石の乾燥工程に利用し、重油およびLNGの使用量を削減する等、エネルギーの効率的な活用に取り組んでいます。

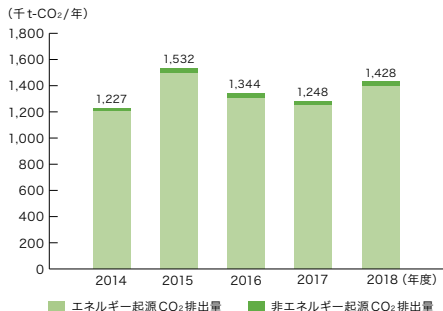
2018年度の総エネルギー使用量とCO<sub>2</sub>排出量は、生産量が増加したため2017年度と比較しどちらも増加しま

したが、生産量あたりのエネルギー使用量（エネルギー原単位）は3.8%低減しました。これは生産量の増加に伴い熱効率が良くなったことに加え、エネルギー効率が良くなるよう工程を改善したことが要因と考えられます。

### ■総エネルギー使用量



### ■CO<sub>2</sub>排出量



## 大気汚染防止対策

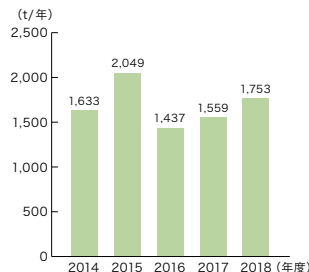
製造工程や自家発電設備から発生するばい煙を抑制するため、テレメータによる常時監視、排ガス連続測定装置の更新等の対策を講じるとともに、自主管理値の管理状況の社内回覧や法規制順守教育を実施し、社員の意識高揚を図っています。また、貯鉱場、場内路面などへの24時間散水やダストモニターによる常時監視を行い、粉じん

の飛散を防止しています。2018年度は、生産量増加に伴い大気汚染物質の排出も増加しました。引き続きばい煙の抑制に努めていきます。

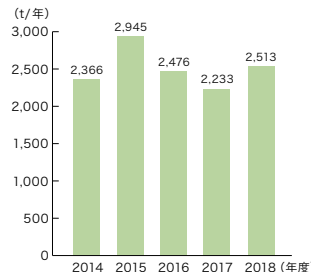


排ガス測定の教育

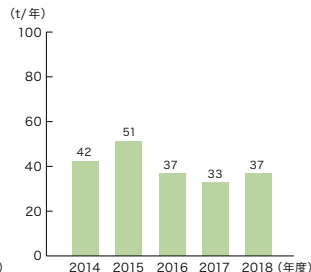
### ■SO<sub>x</sub>排出量



### ■NO<sub>x</sub>排出量



### ■ばいじん排出量

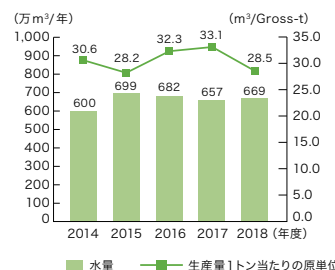


## 水質汚濁防止対策

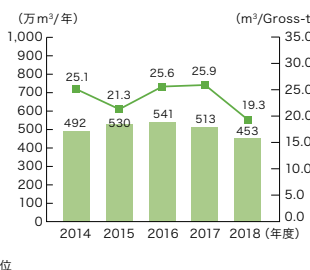
電気炉やフェロニッケルスラグの冷却に循環水を利用することにより水使用量の削減に取り組んでいます。排水については、定期検査に加え、連続監視モニターによるリアルタイム監視や社員による巡視など日々の管理を徹底して

います。また、排水終末処理施設では、降雨時の濁度濃度上昇の際に処理水量の調整を行う等適切な管理を行っています。2018年度も排水の協定値超過はありませんでした。

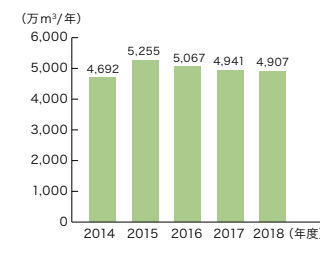
### ■給水量



### ■総排水量



### ■循環利用水量



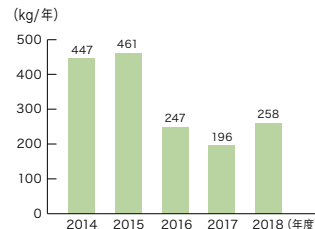
## 化学物質の適正管理

PRTR制度に基づき、届出対象物質の排出量・移動量を把握し、毎年行政への届け出を行っています。2018年度のPRTR届出対象物質は、表に示す4種類でした。化学物質については、購入量・使用量・保管量を管理し、有害物質の使用量を削減する取り組みを行っています。2019年度には薬品管理システムを導入し、さらに徹底した管理

を行う予定です。

また、フェロニッケル製造工程から排出されるニッケル化合物を当社の最も重要な管理項目の一つとし、ダストモニターの設置や24時間散水、モータースイーパーによる清掃などの対策を講じています。

### ■ニッケル化合物排出量



### ■2018年度PRTR届出対象物質

		ニッケル化合物 (kg/年)	クロム及び三価クロム化合物 (kg/年)	マンガン及びその化合物 (kg/年)	ダイオキシン類 (mg/年)
排出量	大気	209	71	46	0.00015
	水域	49	0	0	0
	土壌	0	0	0	0
	所内埋立	0	0	0	0
移動量	社外廃棄物	0	0	0	18

## 環境法規制等への対応

フロン排出抑制法に基づき、当社で保有する業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器等の点検を定期的に行っています。点検の結果、報告が必要な漏えい等はありませんでした。大気汚染防止法の水銀排出施設である廃棄物焼却炉については、法に則り排ガス中の全水銀を測定しています。

廃棄物処理法における水銀使用製品廃棄物（蛍光灯等）についても適切に処理委託しています。また、PCB含有機器のうち大型変圧器の微量PCB含有絶縁油の処理に関しては、撤去を進めています。